



報道各位

新潟市消防局指令課

通信指令員による『口頭指導』と市民の勇気ある行動が命を救う！

- 概要 偶然居合わせた2名の市民が、路上で倒れた男性を発見。2名とも応急手当の受講経験はありませんでしたが、通信指令員が電話を通じて心肺蘇生を伝える『口頭指導』を行い、心臓マッサージを実施した結果、男性は救急隊が到着した際には心臓が動き出し、その後の治療で回復に向かっています。

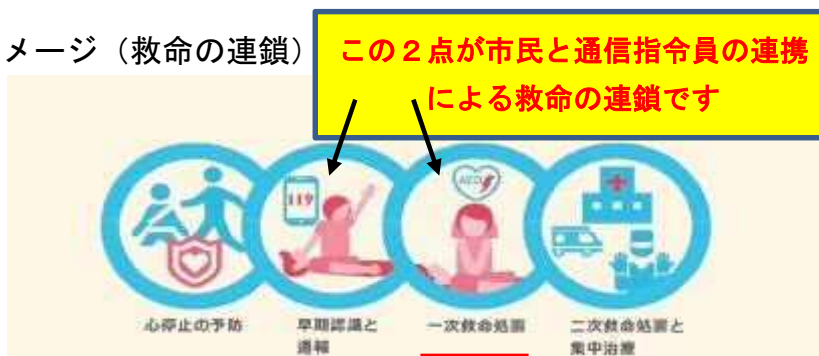
応急手当にご協力をいただいたお二人からは、消防の『口頭指導』を受けることができたため、すぐに行動に移れたと話を聞く事ができました。

尊い命を守るためには、救急隊が到着するまでのわずかな時間にしか実施できない通信指令員による『口頭指導』があり、これには市民の理解と通報者の協力が必要不可欠です。

そこで、11月9日の『119番の日』に併せて、本件の取材や広報にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

- 取材 本件では消防指令管制センターにおいて通信指令員による口頭指導の撮影のほか、実際に応急手当を実施した二人からのコメントや、救急医療に携わる救命医から『口頭指導』の有用性について取材協力をいただけるよう調整します。併せて119番通報を受け付ける消防指令管制センターの概要等を別紙で送付しますので、取材の希望がございましたら11月4日までに下記担当までご連絡ください。

- イメージ（救命の連鎖）



【問合せ先】
新潟市消防局指令課
担当 坂西
電話 025-288-3270
FAX 025-288-3275

119番の日に伴う広報資料

11月9日の『119番の日』に伴い、119番通報や消防指令管制センターの概要を下記のとおりまとめましたので、取材・広報にご協力をお願いします。

1 119番受信件数（令和元年）

	119番 受信 総数	災 害			問 合 せ 間 違 い 通報訓練
		火災	救急	その他	
件数 (前年比)	49,947 (-348)	635 (-32)	36,244 (-222)	326 (+2)	12,742 (-96)
うち携帯電話等 (前年比)	19,539 (+816)	385 (-33)	14,229 (+590)	221 (+34)	4,704 (+225)

- ・令和元年の119番受信総数は49,947件（前年比減）。そのうち火災通報は635件（1.3%）、救急要請は36,244件（72.6%）。
- ・携帯電話等からの通報は、119番受信総数のうち19,539件（39.1%）で増加傾向。

2 当市における119番受信及び出動指令体制

- ・消防指令管制センターで全ての119番通報を受信している。
- ・位置情報通知システムを活用し短時間で災害場所を特定。併せて消防車等の位置をGPSにより管理し、災害場所まで最も近い車両を選び出動を指令している。
- ・音声によらない通報手段として、Net119やファックス、メールによる通報を運用している。

3 119番の通報要領及び注意点

- ・最初に火災による通報か救急による要請か確認する。
- ・次に消防車等を向かわせる住所を聴取。携帯電話から通報する場合は注意が必要で、大まかな位置情報は把握できるが、場所や端末の機種によって誤差があるため住所が分かれば番地まで正しく伝える。不明な時は、大きな建物や交差点の名称など、周りにある目標となる情報を伝える。

4 口頭指導について

- ・救急要請時口頭指導数(令和元年)1067件、うち心臓マッサージ等493件。
- ・通報を受け付けるだけでなく、消防車等が到着するまでの間、通報者にすぐに実施してほしい行動とその方法を伝える『口頭指導』を実施している。
- ・火災の初期には被害拡大を防ぐため消火器の使用や避難の呼びかけ等を依頼。
- ・救急では突然心臓が停まった人を救命するために、心臓マッサージやAEDの使用手順を伝えて心肺蘇生法等を実施。